

浄福寺 ^{えにし} 縁堂 建立趣意書

宗祖親鸞聖人のみ教えてを受け継いできた浄福寺は、門信徒並びに有縁の皆様のご尽力により今日まで護持されて参りました。唯々門信徒並びに有縁の皆様と先人のご遺徳に感謝申し上げます。

さて、この度浄福寺におきましては、長年の悲願でありました納骨堂「浄福寺縁堂」を建立することとなりました。私事ではありますが、父は7年前に65歳にて、お浄土に還りました。その父の葬儀後、大学時代の恩師がわざわざお参りに来て下さいました。そして、ご本堂に安置してあった父のお骨を見るなり、「お骨はただの骨じゃないんじゃ。わしが、勝手に思うとることじゃが、灰仏様(はいぼとけさま)なんじゃ」、「灰仏様とって、わしらに南無阿弥陀仏の念仏を届けてくださるとるんじゃ」と、お話して下さいました。その時の恩師の言葉が、私の納骨堂建立の原点であります。

縁堂は、皆様方の「灰仏様」に身近に会えることを目指したお寺の中の墓所であります。また、先祖のつながりを残す大切な心のふるさとです。どうか、この趣旨をご理解いただき、広く有縁の方々に縁堂をこのよりどころにしていただくことを望み、謹んでご案内申し上げます。

合 掌

浄土真宗 本願寺派

金谷山 浄福寺

住職 金谷 桂三